

生態学的混播・混植法 北海道十勝川水系『治水の杜』現地視察の御案内

- 1. 目的** 東日本大震災後に防潮林の重要性が認識され、その造成が開始しされている。しかし、目指す防潮林の姿が共有されておらず、また、潮風と盛土という樹木にとって厳しい条件下で枯死するなど技術的な問題も抱えている。樹林の造成には長い時間が必要であり、最初の段階で目的と目標を理論的に整理、共有し、かつ、確かな技術を用いて目指す樹林を確実に造成する必要がある。北海道の十勝平野を流れる十勝川水系では、1999年から日本で初めて「樹林帯制度」に基づき長大な河川堤防上において生態学的混播・混植法による堤防林の造成が開始され、多種の在来種からなる複層混交林の造成に成功しており、現在も造成が続けられている。本現地視察の目的は、生態学的混播・混植法により長大な河川堤防上で順次植栽された箇所での成林過程を観察・検討し、東日本大震災後の被災地において生態学的混播・混植法による防潮林造成技術の移転の可能性を探ることにある。
- 2. 内容** 現地視察は、二日間にわたって実施し、1日目は、十勝川水系で開始され現在も続けられている治水の杜事業地を見学し、長大な河川堤防上で生態学的混播・混植法により順次植栽された箇所において、その成林過程を観察・検討する。2日目は、札幌市周辺において、生態学的混播・混植法に基づく苗木造りや、条件の異なる施行地を見学する。両日とも、生態学的混播・混植法の考案者と実践者が同行し、生態学的混播・混植法の考え方や実践する上でのコツをお話しする。
- 3. 日時と申込・参加費**
 - ・日時 平成27年7月15日（水）帯広・16日（木）札幌
 - ・申込先 下記のメールアドレスに申し込むこと。
特定非営利活動法人 近自然森づくり協会事務局 担当 熊田
メール yoko.kumata@otmc-re.com 問い合わせ電話番号 090-3394-6430 岡村（北海道環境再生医の会）
 - ・申込締め切り 平成27年6月30日（これ以前でも定員に成り次第占めきります）
 - ・参加費用 3,000円（資料代および三陸からの参加者への旅費助成に使用）
 - ・その他 札幌駅または新千歳空港までの集合手段、および宿泊は、各自用意願います。
- 4. 主催** 特定非営利活動法人 近自然森づくり協会
共催 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所、みずみどり空間研究所
協力 北海道環境再生医の会

5. スケジュール

◎札幌出発班

[1日目]

8時20分:札幌駅北口発(バス:1時間10分)⇒9時30分:新千歳空港着
9時40分:新千歳空港発(バス:2時間50分)⇒12時30分:昼食場所着
12時30分~13時15分:昼食(焼肉 平和園 札内店:45分)
13時30分:昼食場所発(バス:15分)⇒13時45分:十勝川「治水の森」着
13時45分~15時00分:現地視察(1時間15分)
15時10分:「治水の森」発(バス:3時間20分)⇒18時30分:札幌駅北口着
札幌駅周辺で懇親会

[2日目]

8時30分:札幌駅北口発(バス:50分)⇒9時20分:簾舞 苗床着
9時20分~10時00分:苗床視察(40分)
10時00分:簾舞 苗床発(バス:15分)⇒10時15分:藤野東公園着
10時15分~10時45分:藤野東公園視察(30分)
10時45分:藤野東公園発(バス:30分)⇒11時15分:幌平橋ホヒラタイ着
11時15分~11時45分:現地視察(30分)
11時45分:幌平橋ホヒラタイ発(バス:25分)⇒12時10分:豊平川左岸(環状北大橋)着
12時10分~13時20分:昼食・現地視察(70分)※途中、コンビニで弁当を購入してバス内または堤防で食事する。
13時20分:豊平川左岸(環状北大橋)発(バス:60分)⇒14時20分:茨戸川「石狩川歴史の森」着
14時20分~15時00分:茨戸川「石狩川歴史の森」現地視察(40分)
15時00分:茨戸川「石狩川歴史の森」発(バス:1時間10分)⇒16時10分:新千歳空港着
16時20分:新千歳空港発(バス:1時間10分)⇒17時30分:札幌駅北口着

◎仙台空港出発班

[1日目]

8時15分:仙台空港発(ANA1221便:1時間10分)⇒9時25分:新千歳空港着
9時40分:新千歳空港で貸切バスに同乗(札幌出発班と合流)
(行程は、左記と同じ)

札幌宿泊

[2日目]

(行程は、左記と同じ)

17時50分:新千歳空港発(ANA1230便:1時間15分)⇒19時05分:仙台空港着